福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語ⅡB
科目基礎情報					
科目番号	0024		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義・演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	都市システム工学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	DUALSCOPE English Grammar in 36 stages (数研出版), DUALSCOPE English Grammar in 36 stages スコープワーク36 (数研出版)、				Workbook for Cross over the TOEIC Bridge Test (金星堂)
担当教員	勅使河原 智子				
到達目標					
① 高校英文法で必要最低限な要点を習得することができる。 ② 英語IBで学んだ文法事項に基づき、自分の考えなどを英文で表現する能力を身につける。 ③ Cross over the TOEIC Bridge Test を利用し、TOEICテストの形式に慣れ、語彙・リスニング・文法ポイントを効果的に学習する。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。	各授業項目の内容を理解している。	各授業項目の内容を理解していない。		
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	自分の考えを英語で表現できる基礎的な能力を養う。また、英語表現に必要な文法や文構造の基礎知識の習得をめざす。				
授業の進め方・方法	文法事項についての説明 英語表現の練習 TOEIC演習				
注意点	必ず予習をして授業に臨むこと。担当教員が予習状況を授業中に確認することがある。 定期試験の成績を60%、課題提出・小テストの成績を30%、平常点を10%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	前期授業についての説明など	
		2週	Lesson 14	不定詞(1)	
		3週	Lesson 15	不定詞(2)	
		4週	Lesson 16	不定詞(3)	
		5週	Lesson 17	不定詞(4)	
		6週	Lesson 18	動名詞(1)	
		7週	前期中間試験答案返却	答案の返却と解説、前期前半で学んだ内容のまとめ	
		8週	Lesson 19	動名詞(2)	
	2ndQ	9週	Lesson 20	分詞(1)	
		10週	Lesson 21	分詞(2)	
		11週	Lesson 22	分詞(3)	
		12週	Lesson 23	比較(1)	
		13週	Lesson 24	比較(2)	
		14週	Lesson 25	比較(3)	
		15週	前期期末試験答案返却	答案の返却と解説、前期で学んだ内容のまとめ	
		16週			
後期	3rdQ	1週	Lesson 26	関係詞(1)	
		2週	Lesson 27	関係詞(2)	
		3週	Lesson 28	関係詞(3)	
		4週	Lesson 29	関係詞(4)	
		5週	Lesson 30	仮定法(1)	
		6週	Lesson 31	仮定法(2)	
		7週	後期中間試験答案返却	答案の返却と解説、後期前半で学んだ内容のまとめ	
		8週	Lesson 32	話法(1)	
	4thQ	9週	Lesson 33	話法(2)	
		10週	Lesson 34	否定	
		11週	Lesson 35	倒置・強調・省略などの表現	
		12週	Lesson 36	無生物主語・名詞中心の表現	
		13週	品詞の学習	接続詞(1)(2)・前置詞(1)(2)・名詞	
		14週	品詞の学習	冠詞・代名詞(1)(2)・形容詞・副詞	
		15週	後期期末試験答案返却	後期期末試験答案返却、後期で学んだ内容のまとめ	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3		

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	30	0	10	0	0	100
基礎的能力	60	30	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0